

2014年4月吉日

2014年度統計関連学会連合大会について（第二報）

| | |
|-------------|------------|
| 運営委員会委員長 | 山田剛史（岡山大学） |
| 実行委員会委員長 | 大森裕浩（東京大学） |
| プログラム委員会委員長 | 西郷浩（早稲田大学） |

今回で13回目になる2014年度統計関連学会連合大会について進捗状況をご報告いたします。今大会も統計関連学会連合に属する全ての学会の共催により開催する運びとなりました。東京大学本郷キャンパスが大会会場となっております。本大会の第1日目（9月13日（土））はチュートリアルセッションと市民講演会を開催いたします。一般講演などは2日目以降（9月14～16日）に開催します。懇親会は、本郷キャンパス内の山上会館を会場として予定しております。例年と異なり、土曜日開始となる点にご注意ください。

この第二報では、チュートリアルセッション、市民講演会、企画セッション、コンペティションセッションなどの概要を項目ごとにご紹介いたします。今後、連合大会のウェブページ

<http://www.jfssa.jp/taikai/2014/>

に関連情報や詳細情報を随時掲載していきますので、ご覧ください。

1. 大会日程、開催場所、各種受付期間

開催日程：9月13日（土）から16日（火）までの4日間

9月13日（土）：チュートリアルセッションと市民講演会（東京大学本郷キャンパス）

9月14日（日）～16日（火）：本大会（東京大学本郷キャンパス）

共催：応用統計学会，日本計算機統計学会，日本計量生物学会，日本行動計量学会，
日本統計学会，日本分類学会

懇親会：9月15日（月）18:00～（予定） 山上会館（本郷キャンパス）

講演申込：5月8日（木）9:00～6月5日（木）17:00

原稿提出：6月10日（火）9:00～7月8日（火）17:00

事前参加申込：7月17日（木）9:00～8月20日（水）17:00

2. 講演の申込

講演には次の種類があります。

- ・一般講演
- ・企画セッション講演
- ・コンペティション講演

申込み方法は、すべての講演に共通の事項と種類ごとに異なる事項がありますので、ご注意ください。

(1)すべての講演に共通の事項

講演をご希望の方は、上記ウェブページからお申込み下さい。これ以外の申込み方法はありません。ウェブページ上で、「一般講演」、「企画セッション講演」、「コンペティション講演」のいずれかを選択して下さい。原則として、講演者が申込んで下さい。ただし、「企画セッション講演」については、オーガナイザーが申込んでください。

(2)「一般講演」に関わる事項

通常の講演は「一般講演」として講演者がお申込み下さい。ウェブページ上の講演申込み手順にしたがって申込みをして下さい。プログラム編成の際の参考にしますので、最大3個までのキーワードを、重視する順にご選択ください。また、講演者（連名講演者を含む）のうち、少なくとも1名は共催6学会のいずれかの会員であることが要件です。

(3)「企画セッション講演」に関わる事項

各セッションのオーガナイザーが、セッション内の講演全件を申込みください。たとえば、セッション内に5件の報告がある場合、それぞれの報告を1つずつ、計5件をオーガナイザーが申し込みください。これによって、当該の企画セッション内のおのおの講演の原稿が1件の報告として報告集に掲載されることとなります。その点にご注意ください。

(4)「コンペティション講演」に関わる事項

コンペティション講演は、研究内容とプレゼンテーションの能力を競う企画で、今回で12回目を迎えます。参加資格は、以下のいずれかの条件を満たす方です。

(a) 2014年4月1日時点で30歳未満の若手研究者（博士後期課程院生をふくむ）

(b) 講演時に学部学生や修士課程（または博士前期課程）院生（年齢は問いません）

連名講演の場合、コンペティション対象者は実際に口頭発表する方で、講演の申込時点で共催6学会のいずれかの会員である必要があります（ただし、申込と同時に入会手続きする方もふくみます）。審査は、数名の審査委員による5段階評価にもとづく投票で実施する予定です。選考はプログラム委員会で行います。審査では、研究内容とともに、研究発表のプレゼンテーションについても評価します。発表者が十分に準備・工夫し、充実したプレゼンテーションであることを期待しています。原則として、最優秀報告者1名、優秀報告者3名程度を選考します。コンペティションセッションは9月14日・9月15日に開催し、9月15日の夕刻（懇親会の前）に表彰式を行う予定です。

3. 講演報告集用原稿の提出

(1) 「一般セッション講演」, 「コンペティション講演」に関わる事項

報告集用の原稿は A4 サイズで 1 ページです。インターネット経由で電子ファイル (PDF 形式) を提出していただきます。「1. 大会日程, 開催場所, 各種受付期間」を参照の上, 原稿提出期間を厳守してください。

(2) 「企画セッション講演」に関わる事項

オーガナイザーが集約してご提出下さい。書式・提出期間等は, 上記(1)と同じです。セッション内のすべての講演について 1 つずつ別々にオーガナイザーが原稿を提出してください (2. 講演の申込(3)「企画セッション講演」に関わる事項参照)。オーガナイザーが期限内に原稿を提出できるようなスケジュールで, 企画セッション講演者に原稿を依頼してください。

(3) すべての講演に共通の事項

いずれの種類 of 講演についても, ご希望の方は, 報告集用原稿とは別に, ウェブページに掲載する詳細論文を受け付けます (A4 サイズ, 最大 10 ページまで, PDF 形式, ファイルサイズは 1MB 以内, フォント埋め込み)。論文ファイルをメールによりプログラム委員会宛 submission2014@jfssa.jp にお送り下さい。報告集用原稿および詳細論文の執筆要領につきましては, 連合大会ウェブページ (<http://www.jfssa.jp/taikai/2014/>) をご覧下さい。

(4) その他

講演報告集は大会当日にお渡しします。

【注意】

報告集は, 本大会ウェブページにて期間限定で公開予定です。公開を希望しない場合には, 報告集用原稿の提出時に, その旨をご指示ください。

4. 企画セッションのご案内

学会や個人から申請のあった 21 件の企画セッションが予定されております。テーマとオーガナイザーのお名前, ご所属は以下の通りです。テーマのねらいや講演者・講演タイトルなどにつきましては連合大会のウェブページをご覧ください。

なお, 企画セッションの運営はオーガナイザーに一任しておりますので, 企画セッションについてのご質問がございましたら, 直接オーガナイザーにお問い合わせ下さいますようお願い致します。企画セッションの日程はプログラム作成時に決定致します。

企画セッション名とオーガナイザー (敬称略)

- (1) 日本分類学会シンポジウム: 主成分分析の拡張と新展開 足立浩平 (大阪大学)
- (2) 日本計量生物学会シンポジウム: メタアナリシスにおける最近の展開 手良向聡 (金沢大学)・野間久史 (統計数理研究所)

- (3) 日本計量生物学会 奨励賞受賞者講演 手良向聡 (金沢大学)
- (4) 日本統計学会 各賞受賞者記念講演 鎌倉成稔 (中央大学)
- (5) 応用統計学会シンポジウム：技術開発プロセスを加速させるための知の統合 竹内恵行 (大阪大学)・渡辺美智子 (慶應義塾大学)・椿広計 (統計数理研究所)
- (6) 応用統計学会 学会賞受賞者講演 大西俊郎 (九州大学)・黒木学 (統計数理研究所)
- (7) ソフトウェアセッション
- (8) 高頻度従属データの推測理論 増田弘毅 (九州大学)
- (9) スパース正則化による統計的推測 藤澤洋徳 (統計数理研究所)
- (10) 法・裁判と統計 石黒真木夫 (統計数理研究所名誉教授)
- (11) スポーツにおけるビッグデータの活用 酒折文武 (中央大学)
- (12) スポーツ統計科学の方法論 竹内光悦 (実践女子大学)
- (13) 金融リスク管理における統計的方法 塚原英敦 (成城大学)
- (14) 計算機統計学による大規模医療・生態系データ解析 石橋雄一 (スタットラボ)・石岡文生 (岡山大学)
- (15) 統計科学と保険 小暮厚之 (慶應義塾大学)・田中周二 (日本大学)
- (16) GLS の理論的研究の魅力と実証的有効性 倉田博史 (東京大学)
- (17) データ中心政策科学の実践と展開 北川源四郎 (情報・システム研究機構)・椿広計 (統計数理研究所)
- (18) 公的統計におけるオープンデータ化の取組 坂下信之 (統計センター)
- (19) ビッデータ/オープンデータ 利活用人材育成に向けた統計教育の推進と質保証 藤井良宜 (宮崎大学)・竹内光悦 (実践女子大学)・渡辺美智子 (慶應義塾大学)
- (20) 統計教育大学間連携ネットワーク (JINSE) の取り組み状況と今後 美添泰人 (青山学院大学)
- (21) スポーツビジネスの計量分析：プレイヤーとファンの相互作用を探る 水野誠 (明治大学)

5. チュートリアルセッションのご案内

下記の2つのテーマでチュートリアルセッションを開催いたします。2つの会場で並行して開催しますので、どちらかをお選びください。参加費については「7. 参加申込と大会参加費」をご覧ください。

日時：2014年9月13日(土)13:00～16:00

場所：東京大学本郷キャンパス経済学研究科棟

テーマ 1：公的統計の二次的利用－利用申請手続きを中心に

講演者：小林良行 (元総務省統計研修所)・中村英昭 (総務省)

時間：13:00～16:00 (3時間)

開催趣旨：現行の統計法 (平成21年4月に全面施行) では、行政機関等が作成する統計 (公的統計) は社会の情報基盤であるとの認識の下、学術研究等での利用について一定の要件を満たすと認められる場合に、一般からの委託に応じて既存の調査票情報から新たな集計表を作成・提供

(オーダーメイド集計) したり、匿名性を確保した調査票情報 (匿名データ) を提供したり、調査票情報自体を提供したりする制度が定められている。

本チュートリアル前半では、公的統計の二次的利用とは何か、誰が利用できるのか、利用するにはどのような手続きが必要かといった点について概説するとともに、二次的利用の申請書類とその書き方についても例を交えて解説する。

また、後半では、我が国と対比しつつ、諸外国の政府統計機関が提供している様々な二次的利用形態の先進的な事例を紹介する。

テーマ 2 : マッチングと統計解析

講演者 : 岩崎学 (成蹊大学)

時間 : 13:00~16:00 (3時間)

開催趣旨 : 医学、疫学や経済学、社会学など様々な分野における群間比較では、比較の妥当性の担保や比較効率の向上などの目的で、マッチングが行なわれることが多い。特に、疫学におけるケース・コントロール研究では、欠かせない道具となっている。

本セミナーでは、統計的因果推論の立場から、マッチングに関わる様々な問題を最新の研究成果を交えながらなるべく平易に解説する。具体的には、マッチングの目指すもの、種々のマッチング法、マッチング結果の評価、得られたデータの解析法 (独立な場合との比較)、種々の注意点などを取り上げる。近年、日本でも応用が広がっている傾向スコアマッチング (propensity-score matching) については、やや詳しく述べる予定である。

生物統計学、経済学、社会学などにおけるデータ解析に興味を持たれ、マッチングに対する知識の整理をしたい方々の参加をお待ちしています。

6. 市民講演会のご案内

下記の2つのテーマで市民講演会を開催いたします。参加費は無料です。

日時 : 2014年9月13日 (土) 16:30~18:00

場所 : 東京大学本郷キャンパス経済学研究科棟地下1階第1教室

テーマ 1 : 統計からみた保険の仕組み

講演者 : 杉田 健 (三井住友信託銀行)

時間 : 16:30~17:15 (45分)

概要 : 本講演では、リスクに対処するための効果的な仕組みである「保険」について、統計の観点から図を多く用いて解説します。

保険は不確実な事象に対処する手段として今や企業活動や日常生活に欠かせないものとなっています。例えば、2011年10月にタイで発生した洪水で、日本から進出している企業の工場は大きな被害を受けましたが、多くの損失が保険で補填されました。個人にとっても自動車事故・火災・疾病・死亡等に対する備えとして保険は多く活用されています。また年

金は老後の安心のために欠かせないものとなっていますが、これは生存に対する、すなわち老後収入がなくて生活に困ることに対する保険といえます。

保険にとって統計は重要な役割を担っています。リスクに対する保険料について当初は粗い計算が行われていましたが、統計の活用により精密な計算ができるようになったからです。貢献が大きいのはハレー彗星で有名な英国の科学者エドモンド・ハレーです。ハレーは1693年の論文で、ハプスブルク帝国のブレスラウ（現在ではポーランド西部のヴロツワフ）の住民の死亡記録に基づいた死亡年齢の統計分析に基づき、終身年金保険購入者の年齢に応じた適切な年金の保険料（掛金）を算定しました。本講演では保険の仕組みを、統計との関係を踏まえて解説するものです。

テーマ 2：漱石の目指した統計科学

講演者：椿 広計（統計数理研究所）

時間：17:15～18:00（45分）

概要： ロンドン留学時代夏目金之助は、一時同宿となる化学者池田菊苗（味の素の発明者）との一連の科学論議に大いに感化された。池田帰国後1901年9月、近代統計科学創生の書として著名な Karl Pearson の「科学の文法第2版」を購入する。これを批判的態度で一気読み進めるとともに大きな共感を覚える。この後、文学評論を統計科学とする10年計画を立て、科学の文法に即した態度、彼の言う「自己本位」の姿勢で英文学の研究を開始する。実際、夏目留学時の大学ノート、帰国後東京大学で行った講義「文学評論」、並びに文学論の序の草稿は、Pearson の影響を色濃く残している。本講演は、夏目の留学を遡る明治維新直前のロンドンの中学校での Pearson と菊池大麓（数学者、後に文部大臣）との出会いからスタートし、Pearson とその周辺が科学の文法を確立した活動、夏目が科学の文法に出会い、それに基づく文学評論研究を志向すると同時に、科学の文法を乗り越えようとした思い、更に漱石の研究に対する先人たちの評価までの範囲を叙述したい。また、夏目や弟子の寺田寅彦の残した言葉を通じて、Pearson が構想した統計科学がどのようなもので、どのような考え方として解釈されたかも紹介する。

7. 参加申込と大会参加費

当日受付の混雑を緩和するため、ウェブページからの事前申込にご協力ください。受付期間については「1. 大会日程、開催場所、各種受付期間」を参照してください。事前申し込みの場合、参加費が大幅に割引になりますのでぜひご利用ください。

大会参加費（報告集代を含む）事前申し込み当日受付

| | 事前申し込み | 当日受付 |
|----------------|---------|---------|
| 会員（共催6学会の会員） | 7,000円 | 10,000円 |
| 学生（会員・非会員を問わず） | 3,000円 | 8,000円 |
| 学生以外の非会員 | 13,000円 | 17,000円 |

チュートリアルセッション参加費（資料代を含む）

| | 事前申し込み | 当日受付 |
|----------------|---------|---------|
| 会員（共催 6 学会の会員） | 3,000 円 | 4,000 円 |
| 学生（会員・非会員を問わず） | 2,000 円 | 4,000 円 |
| 学生以外の非会員 | 6,000 円 | 8,000 円 |

懇親会参加費

| | 事前申し込み | 当日受付 |
|----------------|---------|---------|
| 一般（会員・非会員を問わず） | 5,000 円 | 6,000 円 |
| 学生（会員・非会員を問わず） | 3,000 円 | 4,000 円 |

【注意】

- (1) これまでの大会と同様に、事前申込のキャンセルと変更は認めません。大会に参加されなかった場合、報告集などの資料を後日送付いたします。
- (2) 講演申し込みをされた方も参加申込みの手続きが必要です。
- (3) 市民講演会は無料です。
- (4) 共催 6 学会の会員以外の方が、企画セッションや特別セッションでオーガナイザーから依頼されて講演される場合、大会参加費は無料となります。

8. 宿泊・アクセス案内

今大会では宿泊の斡旋はいたしません。大会会場となります東京大学本郷キャンパスへは、地下鉄丸ノ内線の場合、本郷三丁目駅（東京駅から 7 分、池袋駅から 9 分）下車、徒歩約 8 分、都営地下鉄大江戸線の場合、本郷三丁目駅（新宿西口駅から 14 分、上野御徒町駅から 2 分）下車、徒歩約 5 分、です。